

⑦ 地域連携・研究推進センター開講科目

授業科目名	必修・選択	開講Semester	単位数	主担当教員名
地域活性化システム論 (「地域再生システム論」を改題)	自由	2・4・6・8	2	谷口吉光
授業の目標	次世代を担う学生、院生が秋田固有の文化、風土、生活や工業、鉱業、農林水産業、商業、金融、サービス業などの産業構造、経済活動のシステムを幅広く理解して、現在、少子化、高齢化、経済のグローバル化によって存続の危機に晒されている秋田の地域をどのようにして活性化させるか、その方法、活動、政策などを議論し、提案できるようになることを目標とする。			
授業の概要・計画	<p>全国各地で自治体や企業・住民主導による地域活性化の取り組みが精力的に行われているが、地域活性化の方法、活動や政策形成に関する確固とした理論や方法論がないために、未だに試行錯誤の状態が続いている。また地域をシステムとして捉えきれていないため、個別の活動では完結するものの、地域全体の発展へと繋がらないきらいがある。</p> <p>平成22年度は「秋田県の工業の活性化」を取り上げ、「秋田の工業界を元気にするためにはどうすればいいか」を合い言葉に、業界が抱えるさまざまな具体的問題の現状と課題を分析し、新事業、新産業の創出などに繋がる地域活性化の方法を提案できるようにする。</p> <p>この講義は平成22年10月からの後期に開講される。その講師には秋田県立大学教員のほか、外部講師として、他大学教員、国および地方自治体の職員、工業界および民間の有識者などが当たる。またこの講義は他大学の学生・院生をはじめ、国および地方自治体の職員、工業界および民間企業の方々、各種NPOや地域作り団体等に対しても開放される。</p> <p>これら諸事情を考慮して、講義は下記の三部構成(予定)とするが、それらの詳細な内容、講師名などについては、後期開講前に周知することとする。</p> <p>第1部 総論：地域活性化の実践と政策 (1) なぜ今、地域活性化なのか? </p> <p>第2部 各論：秋田の工業の活性化 (1) 秋田の工業の現状と課題 </p> <p>第3部 総合討論</p>			
成績評価の方法	出席(2/3以上)とレポート提出(2回)を基にして総合的に判断する。			
テキスト・参考書等	随時、資料を配付する。			
履修上の留意点	土、日の集中講義(日程は事前に連絡)。他大学の学生・院生のほか、社会人も受講する。			
備考	開講場所は、主としてカレッジプラザ(明德館ビル2階:秋田市中通2-1-51)である。			